

演奏に
役立つ

One Point Lesson

CLARINET

クラリネット

太田友香

おおた・ゆか



- ◆出身 茨城県日立第一高校、昭和音楽大学
- ◆所属 東京佼成ウインドオーケストラ
- ◆趣味 食べる事、映画鑑賞
- ◆血液型 AB型
- ◆星座 蠍座
- ◆読者にひとこと 楽しむ心を忘れずに☆
- ◆手紙の送り先 BJ 氣付

楽に演奏できるトリルの指遣いを覚えておこう!!

みなさん、明けましておめでとうございます!! 今年もよろしくお祈りしますm(_ _)m
とうとう新しい年のスタートですね(^▽^)
みなさんの新年の抱負は決まっていますか?
私は「ゆとりを持って毎日を過ごす」に決めました!
以前にも書きましたが、私は学生の頃から宿題やテスト勉強に取りかかるのがとにかく遅く(〜;) 今でもその性格は健在で、毎朝バタバタ仕度をして家を出たり、締切ギリギリにバンドジャーナルの原稿を出したり… (汗) しかし、そういう過ごし方を

していると心にもゆとりがなくなり、不思議なもので普段の生活の様子がクラリネットの音にも出てしまうのですよね。なので、今年は何事も余裕を持って計画的に日々を過ごしていきたいと思います! 仲間みなさんがいたら(笑)、お互い克服すべく頑張りましょうね!

では、今年も元気にレッスンレッスン!
今回は、曲を吹くときに知っていると助かる裏技についてお話したいと思います。よくトリルなどの指遣いについて質問を受けること

がありますが、曲中に出てくるトリルやトレモロには、速く指を動かすことが困難な難しい指遣いも多々ありますよね。トリルやトレモロには音を装飾して華やかにしたり、曲をより一層盛り上げたり、または反対に寂しげな雰囲気を出したりなど、表現上の重要な働きがあります。やりにくい箇所の手助けではないですが、楽に演奏することができる便利な替え指がいくつかあるので、その指遣いをご紹介します!

ここに載せた以外にも替え指があるので、元の運指でのトリルが難しいときには試行錯誤して、新しい指遣いを探してみてください! ほんの少し音程が悪くなっても多数での合奏の場ではさほど問題はありません。忘れてはいけないことは、トリルやトレモロは元の音がブレずにあってこそその表現だということです。始まりの音はよい音程で吹き、トリルにおいては、記譜されている元の音から始めて、その音でトリルを終えらるるよう心がけてください! いろいろな替え指を覚えて、ますますクラリネットの演奏を楽しみましょう!

※トレモロ
この場合2つの
高さの音を
交互に
小刻みに
演奏する。